



Professional Mixing Controller

PMC05PRO

取扱い説明書



ベスタクス株式会社

〒154 東京都世田谷区上馬2-37-1

電話 03-3412-7011 ファックス03-3412-7013

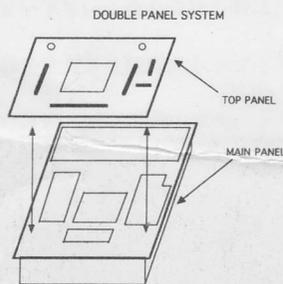
Printed in JAPAN

ごあいさつ

この度は、VESTAX PMC-05PROプロフェッショナルミキシングコントローラーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本機はスクラッチパフォーマンスを行うプロフェッショナルDJのために音質、機能、デザインを追求した世界初のプロユースパフォーマンスミキサーです。パフォーマンスミキサーの代名詞、PMC-05シリーズの最上位モデルとして、プロDJの意見をとり入れた数々の特長（特許出願中）を備えています。本機の性能を最大限に発揮するためにも、この取扱説明書を良くお読み下さるよう、お願いいたします。

VESTAX PMC-05PROの特長

- フェーダー周辺の溝やネジを新機構のダブルパネル（特許出願中）で排除。プロDJの意見を反映させたツマミ配置と共に、パフォーマンス性が最大限にアップしました。
- スクラッチミキサーの要となるクロスフェーダーは、世界初のフォトカプラーを採用したカーブアジャスト機能付きです（特許出願中）。クロスフェーダーそのものには音声信号を流さないため、長寿命と滑らかな動きを実現しました。*フォトカプラー：ダイオードを発光させ、その光量を検知することで抵抗値を変える素子で、クロスフェーダー自体に音声信号を流さない方式を採用します。
- インプット切り替えレバーは、操作性を考慮した長さや形状を持ち、操作方向を縦・横・斜め45度に自由にセッティング可能（特許出願中）。トランスフォーマースクラッチの際に、最適なポジションを選択できます。
- インプットフェーダーには、PMC-40やPMC-46などのハイエンドモデルのクロスフェーダー同様のレールタイプを採用し、高い耐久性と操作性を誇ります。パネル内部のスイッチを切り替えることにより、カーブを調整することができます（特許出願中）。
- 各入力すべてにHI/LOの2バンドEQとL/Rバランスを装備。さらに出力は、ステレオ2系統です。
- 入力モジュールは高級スタジオミキサーと同様のチャンネル独立の縦型PCBタイプです。音質、メンテナンスの両面を考慮しています。



安全上のご注意

- 本機はACアダプター専用です。交流電源や他の異なる電圧の直流電源に、直接つないで使用することはできません。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いて下さい。無理にコードを引っ張ったりして抜くと、コードを傷めてしまいます。
- 水などに濡れた手でプラグを持ってコンセントに抜き差ししないで下さい。感電することがあり、大変危険です。
- ビニールなどの皮膜が切れたり、擦れたりして芯線が露出している電源コードをそのまま使用すると、感電や火災の原因となります。また本機内部に水などの液体や可燃物およびピンなどの金属類を入れないようにご注意下さい。感電や故障の原因となります。
- 本機外装カバーを取り外して、内部に手を触れないで下さい。この結果生じた損傷、感電や火災について、当社はその責任を負いません。

アフターサービス

1. 本機には保証書を添付してあります。所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載事項をご確認の上、大切に保管して下さい。
2. 保証期間中は保証書の記載内容により、当社サービス機関が修理いたします。
3. 保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

設置上のご注意

常温（5～35℃）で、通気が良い、頑丈で電源電圧の変動が少ない場所に設置して下さい。また、アルコールやシンナーなどの溶剤で塗装面を拭かないで下さい。塗装が剥げることがあります。

ご注意

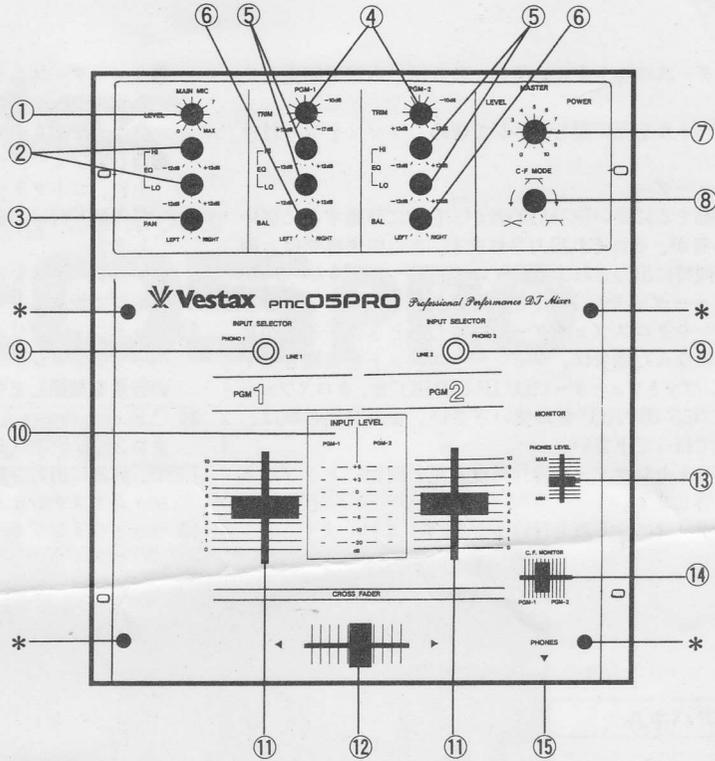
本体の保証期間は1年ですが、クロスフェーダーやインプットフェーダーなどを耐久力の超えた使い方、例えばスクラッチプレイなどでお使いになると、通常のパーツの耐久期間として保証されている期間（1年以上）が1ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合の交換につきましては、当社の判断により実費を請求させていただきます。また、パーツに無理な力を加えると破損することがありますので、本機の性能に疑問が生じた場合は、お買い上げの販売店か弊社までお問い合わせ下さい。

仕様

- 定格入力レベル/インピーダンス
 - MIC -54dBv/3.3k Ω
 - LINE -10dBv/10k Ω
 - PHONO -42dB/56 Ω
- 定格出力レベル/インピーダンス
 - LINE -7dBm/2k Ω
 - PHONES 58mW max. (47 Ω 負荷)
/8 Ω 以上
- 周波数特性 25Hz～25kHz
- クロストーク 100dB以上
- SN比 75dB以上
- THD 0.01%以下
- 外形寸法（W×H×D） 103×320×262mm
- 重量 3.5kg

各部の名称とはたらき

フロントパネル



① メインマイクレベル

メインマイク入力ジャックに接続したマイクの音量を調節します。

② マイクEQ

メイン/サブマイク両方の音質をHI/LOの2バンドで調節します。

③ マイクパンポット

メイン/サブマイク両方の定位を調節します。

④ トリムコントロール (PGM1, PGM2)

各プログラムチャンネルの入力レベルを調節します。インプットフェーダーを7~8の位置にセットして、レベルメーターが0dB位まで振れるようにセットして下さい。

⑤ プログラムEQ (PGM1, PGM2)

各プログラムチャンネルの音質をHI/LOの2バンドで調節します。

⑥ バランスコントロール (PGM1, PGM2)

各プログラムチャンネルのL/Rバランスを調節します。

⑦ マスターレベルコントロール

ラインアウトからの出力レベルを設定します。

⑧ クロスフェーダーモード

クロスフェーダーのカーブを調節します。右に回すほど急激な変化になり、左に回すほどなだらかな変化になります。

⑨ インプットセレクター (PGM1, PGM2)

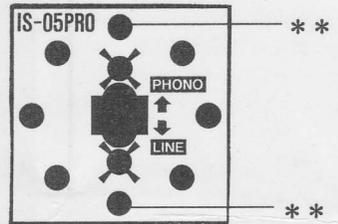
各プログラムチャンネルの入力をPHONO、LINEのいずれかに設定します。スイッチを倒した状態で、LINEになります。また、トランスフォーマースイッチとしても使用できます。なおトップパネルを取り外すことにより、このスイッチの操作角度を変更することができます。操作角度の変更は、次の要領で行って下さい。

●各フェーダーのつまみと、トップパネルを留めてある4本のネジ(*)を取り外します。

●トップパネルを取り外します。

●スイッチパネルの外側のネジ(**)を外し、任意の角度にしてネジで留めます。

●トップパネルを元に戻し、ネジで留め、つまみを取り付けます。



⑩ インプットレベルメーター

各プログラムの入力レベルを表示します。

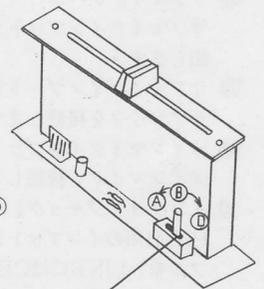
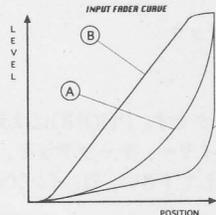
⑪ インプットフェーダー (PGM1, PGM2)

各プログラムの入力レベルを設定します。インプットフェーダーのカーブはインプットフェーダーユニット上のスイッチで3段階に切り替えることができます。なおカーブの変更は、次の要領で行って下さい。

●インプットセレクターの操作角度変更と同様にトップパネルを取り外します。

●フェーダーユニット取り付けネジ(2本)を外します。

●ユニットをとり出します。



カーブ切替えスイッチ

●カーブ切り替えスイッチで希望するカーブを選択します。

●フェーダーユニットを元に戻し、取り付けネジで固定します。

●トップパネルを元に戻し、ネジで留め、ツマミを取り付けます。

⑫ クロスフェーダー

左側に移動するに従いPGM1の音が、右側に移動するに従いPGM2の音が、それぞれ出力されます。また中央部では、両方の音が同時に出力されます。クロスフェーダーのカーブは、クロスフェーダーモード(8)で調節できます。*インプットフェーダーやクロスフェーダーを動かしたときにノイズが目立つようになった場合は、フェーダーユニットを交換して下さい。インプットフェーダーには"IF-05PRO"を、クロスフェーダーには"CF-05PRO"をお使い下さい。なお交換の際は、次の要領で行って下さい。

●インプットセレクターの操作角度変更と同様にトップパネルを取り外します。

●フェーダーユニット取り付けネジ(2本)を外します。

●フェーダーユニットからマルチケーブルコネクタを抜きます。

●新しいフェーダーユニットに、コネクタを差し込み取り付けネジで固定します。

●トップパネルを元に戻し、ネジで留め、ツマミを取り付けます。

⑬ ヘッドホンボリューム

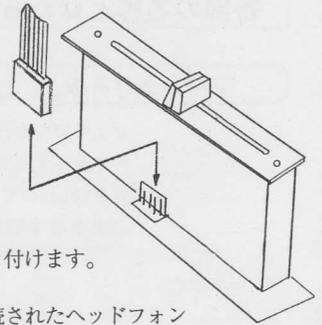
ヘッドホンジャックに接続されたヘッドホンの音量を調節します。

⑭ C.F.モニター

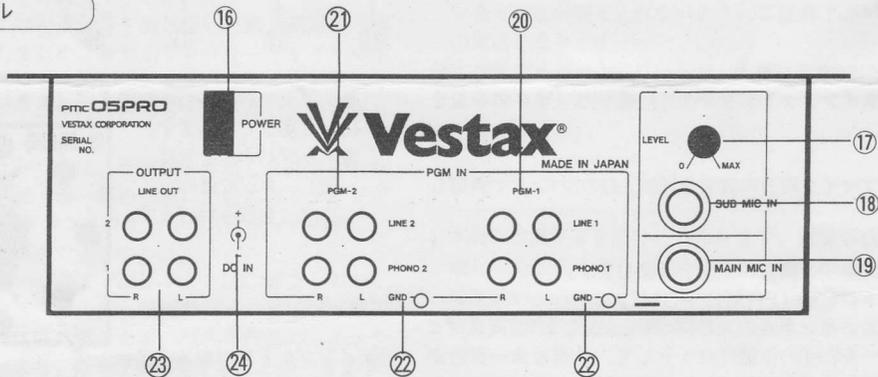
クロスフェードステレオモニターシステムを採用しているので、外部に出力される音とは関係なく、入力ソースをヘッドフォンでステレオモニターできます。

⑮ ヘッドホンジャック

ステレオタイプのヘッドフォンを接続します。



リアパネル



⑯ パワースイッチ

電源のON/OFFスイッチです。ONのときにフロントパネル上のLEDが点灯します。このスイッチを操作する際は、接続しているパワーアンプなどのボリュームを下げるか、電源を切った状態で行って下さい。

⑰ サブマイクレベル

サブマイクインプットジャックに接続したマイクの音量を調節します。

⑱ サブマイクインプットジャック

サブマイクを接続します。

⑲ メインマイクインプットジャック

メインマイクを接続します。

⑳ インプットジャック1

PGM1用のインプットジャックです。PHONOにはターンテーブルを、LINEにはCDプレイヤー、テープデッキ、リズムマシン、サンプラーなどを接続して下さい。21. インプットジャック

㉑ インプットジャック2

PGM2用のインプットジャックです。20. と同様に接続して下さい。*本機のPHONO入力にはMCカートリッジは使用できません。ご使用の際には、昇圧トランスなどでレベルを合わせて下さい。

㉒ グランドターミナル

ターンテーブルのアースコードを接続して下さい。ノイズやハムを減少させます。

㉓ ラインアウト

最終的にミックスされた信号が出力されます。アンプなどに接続して下さい(オーディオ用アンプの場合、LINEやAUXの表記がある端子に接続します)。2系統あるので、メイン出力以外に片方を録音用として使ったり、ブース内のモニター用として使ったりできます。

㉔ DCインプットジャック

付属のACアダプターを接続します。